

米海軍横須賀基地のPFOS（ピーフォス）等に係る国からの説明について  
(第3報)

1. 日 時 令和4年(2022年)9月12日(月)13:30~14:00

2. 来訪者 防衛省南関東防衛局 局長

防衛省南関東防衛局 企画部長

防衛省南関東防衛局 地方調整課連絡調整室長

3. 対応者 市長

市長特命参与

国際交流・基地政策課長

4. 来訪の目的 PFOS等の流出に係る説明のため

5. 概要

(1) 防衛省南関東防衛局からの説明要旨

今回の横須賀海軍施設における排水処理施設からのPFOS等を含む排水につきましても、横須賀市民をはじめ関係する皆様にご不安・ご心配をおかけしていますが、分析結果判明後、分析結果を踏まえた考察等を了しましたので、本日も説明に伺いました。

分析結果判明後、分析結果を踏まえた考察等を行っていたことから、本日も説明に伺うまでに時間を要したことについて、申し訳なく思っております。

本年6月にご連絡させていただいた横須賀海軍施設の排水処理施設における排水からPFOS及びPFOAが検出された件に関し、米側が7月6日に排水処理施設内で再度サンプリングしており、この分析結果の提供がありましたので、この結果をご説明させていただきます。

・住居等からの生活排水が流れ込む系統の排水に含まれるPFOSとPFOAの合算値は、排水処理施設の入口で15ng/Lであり、海に排出する出口で112ng/Lでした。

・また、車両整備場等からの産業排水が流れ込む系統の排水に含まれるPFOSとPFOAの合算値は、排水処理施設の入口で17ng/Lであり、海に排出する出口で93ng/Lでした。

また、6月30日に、当局が実施した周辺海域の海水の分析結果ですが、PFOSとPFOAの合算値は1.7ng/L又は1.8ng/Lであり、環境省の定める水環境中の指針値(暫定)である50ng/Lを下回っていました。なお、当該施設から比較的離れた対照地点の値は同程度の1.6ng/Lでした。

## (2) 上地市長の発言要旨

まず、7月に実施した米軍による再調査で、排水処理場内から再び基準値以上の数値が検出されてしまったことは、誠に遺憾です。

### 【確認事項】

市長から、以下の項目についてそれぞれ確認した。

#### ①原因究明等について

(市長)

5月と7月にサンプリングをして、両結果ともに、基準値以上のPFOS等が検出されたとのことですが、これは客観的に見て、海への流出が常態化していたのではないかと考えられますが、いかがでしょうか。また、入口より出口の方が数値が高いということは、施設内にPFOSが滞留されているということでしょうか。そもそも、米側は今回の原因究明はできたのでしょうか。

(南関東防衛局長)

流出が常態化していたのか、あるいは施設内にPFOSが滞留しているのではないかということについては、流出原因を含め米側に対し、引き続き確認しております。これらの情報については、米側からお知らせできる情報が得られ次第、ご説明させて頂きたいと思っております。

(市長)

排水を止めることはできないのでしょうか。

(南関東防衛局長)

米側からは、排水処理施設には、西側の産業地区及び東側の住宅地区からの排水を処理する二つの排水処理設備があり、横須賀海軍施設全体の排水を処理していると説明を受けており、排水を止めることは困難であると認識しております。

#### ②粒状活性炭の設置について

(南関東防衛局長)

また、米側からは、分析結果の情報提供と併せて、

- ・この分析結果を受け、排水処理施設内で粒状活性炭を一時的に使用する予定であること
- ・排水処理施設内の汚泥の除去を行っており、今後も定期的に汚泥除去を行う計画であること
- ・8月29日に再度サンプリングを実施したなどの説明がありました。

(市長)

粒状活性炭は、どのくらいの効果が期待できるものでしょうか。

(南関東防衛局長)

一般的に、粒状活性炭は、PFOS等の吸着効果があり、粒状活性炭を設置することによって、PFOS等の値が減少したとの分析結果があると認識しています。そして、水道水の浄水場の浄水設備に用いられている事例があると承知しており、例えば、沖縄県の浄水場においても使用されていると承知しています。

(市長)

それでは、粒状活性炭の設置を早急にしていただき、定期的にサンプリングとその結果についてのご報告をお願いいたします。

(南関東防衛局長)

米側からは、粒状活性炭の使用の詳細については検討中であると説明を受けておりますが、当省としては、粒状活性炭の早期使用を求めるとともに、詳細について引き続き米側に確認してまいります。

### ③周辺環境への影響について

(市長)

国による周辺海域での調査結果については、基準値以下であったとのことですが、これは、市民の健康や海への影響について、国から安全だというお墨付きがあったという認識でよろしいでしょうか。

(南関東防衛局長)

当該指針値（暫定）については、PFOS等を含有した飲料水及び魚介類等の食品としての摂取による人の健康への影響を想定しており、人が生涯にわたり連続的に摂取をしても健康に影響が生じない水準をもとに安全性を十分考慮して設定しているものと承知しております。

その上で、周辺海域においては、指針値（暫定）と比べて著しく低い値となっているところです。

なお、今回調査した地点の近傍で、令和元年度に環境省が「PFOS及びPFOA全国存在状況調査」を実施しておりますが、PFOSとPFOAの合算値は1.4 ng/Lであり、今回の調査結果と大きな差異はありませんでした。

その上で、今後、我々としても再度、周辺海域のサンプリングを実施するなど市民の皆様のご不安が少しでも減らせるよう努めていきたいと考えています。

いずれにしても、関係省庁と連携の上、しっかりと必要な対応をしていく考えであり、今後も米側から得られた情報をご説明させていただくなどしてまいります。

④今後の対応等について

(市長)

本市としても9月7日に周辺海域や漁場周辺での調査委託を実施しました。漁協関係者の方達の不安を払拭してまいりたいと思っております。

(南関東防衛局長)

繰り返しになりますが、当局としても、関係する皆様への説明をしっかりと行うとともに、市民の皆様の安全に対するご不安を少しでも減らすことができるよう、今後も努めてまいります。

なお、ただいまご説明した内容につきましては、本日、東部漁協等にもご説明させていただきたいと思っております。

(市長)

本件につきまして、引き続き、早期の原因究明と再発防止の徹底をお願いします。

なお、米側からは、横須賀基地の泡消火剤については全て代替品への交換作業が完了し、吾妻倉庫地区においても10月上旬までに代替品への交換が完了する旨の説明を受けておりますが事実関係についてお聞きかせ下さい。

(南関東防衛局長)

当省としても、今回の事案に対する地元の皆様の懸念をしっかりと受け止めており、米側に対し施設の安全管理の徹底を求めるとともに、引き続き周辺海域での海水の分析を行う等、関係自治体及び関係省庁と連携し、適切に対応してまいります。

横須賀基地等における泡消火剤の交換状況については、確認のうえ、改めて情報提供させていただきます。

以上

## 《在日米海軍司令官とのビデオ会議について》

本件については、同日、在日米海軍司令官とビデオ会議を実施しました。市長からは、

- ・7月6日に実施した、米側による再度のサンプリングに基準値以上のP F O S等が検出されたことは、大変遺憾です。
- ・今回の結果は、基地からの基準値以上のP F O S等の排出の常態化と受け止めざるを得ません。
- ・一刻も早く、この状態を改善するよう、強く求めます。
- ・また、8月29日に実施した、汚泥除去後のサンプリング結果の情報提供と、定期的なサンプリングの実施を求めます。
- ・そして、泡消火剤の代替品への交換の加速と、必要な情報についても併せて求めます。
- ・横須賀市としては、9月7日、横須賀港の7か所で海水を取水し、独自の調査を実施しました。結果は来月中（10月中）に判明する予定です。
- ・健康と環境への影響は、横須賀市民にとっても、米軍関係者にとっても、非常に重要な問題です。

との発言がありました。

在日米海軍司令官からは

- ・米側では、汚泥除去を行った後、8月29日に再度サンプリングを実施しました。結果は後日判明します。
- ・なぜ、海へ排出する出口から、基準値以上のP F O S等が検出されたのかは特定できないが、原因究明に全力を尽くしているところです。
- ・汚泥は、通常の排水処理施設の日常業務の一環として、毎日回収・除去されます。この慣行は、現在の状況を通して継続されており、今後もプラントの持続的な運用を実現するために継続します。
- ・粒状活性炭を使用したフィルターを近いうちに設置する予定です。
- ・米海軍はすでに予算を調達し、排水処理場の流入・流出地点のサンプリングを継続しています。サンプリングは毎月実施され、その結果は引き続き共有されます。

とのことでした。

なお、泡消火剤の代替品への交換について回答がなかったため、会議終了後、米側に事務的に確認したところ、横須賀基地の泡消火剤については全て代替品への交換作業が完了し、吾妻倉庫地区においても10月上旬までに代替品への交換が完了する旨の回答がありました。

以上